

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)㈱日本電商東大阪市御厨東	階数	地上5F
建設地	東大阪市御厨東	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	25 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,160 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年12月 予定	評価の実施日	2023年1月30日
敷地面積	1,181 m ²	作成者	浦田
建築面積	620 m ²	確認日	2023年2月1日
延床面積	2,489 m ²	確認者	森田 吉一

本表を右クリックし、「図に読戻」を選択していただくことで、外観写真を貼り付けることができます。

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
・より良い環境品質・性能の建築物を、より少ない環境負荷で実現するための努力を図る。		・特になし
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・機械換気量や自然換気量の向上を図り、快適な室内環境を確保する。	・将来の利用形態変更の可能性を考慮し、建物の対応性の向上を図る。	・敷地内の屋外環境および周辺環境に関する環境品質の向上に努める。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・省エネルギー機器を採用し、一次エネルギー消費量の低減を図る。	・部材の再利用可能性の向上を図る。	・敷地内に条例に基づく緑地を施し、敷地内の舗装面積を極力小さくすることで地表面の熱的影響の低減を図る。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R4-0145

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)㈱日本電商東大阪市御厨東計画					
	建設地	東大阪市御厨東					
	用途/区分	事務所 工場					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B-	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					2	
③	建物の断熱性					5	
④	エネルギー削減					4	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

エネルギー消費量の報告

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.7	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.9	4
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

【その他】		
	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		